



**HIGHER SCHOOL CERTIFICATE EXAMINATION**

**1999**

**JAPANESE**

**FOR BACKGROUND SPEAKERS**

**2 UNIT**

*(100 Marks)*

*Time allowed—Three hours  
(Plus 5 minutes reading time)*

**DIRECTIONS TO CANDIDATES**

- Attempt ALL questions.
- Answer Section I Part A, Section I Part B, and Section II Part A in SEPARATE Writing Booklets.
- Answer Section II Part B in the special Writing Skills Answer Booklet.

## SECTION I—READING SKILLS

## PART A—UNSEEN COMPREHENSION

(25 Marks)

QUESTION 1 Use a SEPARATE Writing Booklet.

問題 1 (a)(b)の答えを同一の解答冊子に記入しなさい。

(a) Read the following passage, then answer the questions in JAPANESE.

次の文を読んで、あとの問いに日本語で答えなさい。

## 「深い河」の登場人物の説明

大津― カトリック教会からインドに送られたが、教会を離れ、路上で死  
 に行く貧しい人々をガンジス河に運ぶ手伝いをしていた。撮影禁  
 止を無視し、インド人の怒りをかった三条を助けようとして、首  
 の骨を折る大けがを負う。

美津子― 大津の大学時代の友人。大津の神への献身に反発しながらも、彼  
 の生き方に関心を示さずにはいられない。

江波― インドで学び、現在は観光相手のガイドをしている。

三条― 写真家志望の青年で、インドで撮った写真で有名になりたいと思  
 っている。

## 深い河

「あの人、・・・」・・・老婆が壁にもたれ、顔を仰向けにして肩で息をして  
 いる。口から黄色い液体の泡をふいている。しかし横を通過する印度人たちは  
 特別、驚きもせず忙しげにそばを通過するだけだ。

「死にかけているわ、あの人」

女性客は江波に教えたが、江波はそちらに眼をやって、

「行き倒れは印度の至るところにいますよ。デリーでも見たでしょう。ヴァーラーナサイでも見たでしょう。このカルカッタでは毎日、百人、二百人が路で息を引きとるんですよ」

「でも、こんな間近でみるのは初めてですわ。誰か何かをしてやらないの」

「何をしてやればいいんです」江波は怒ったように言った。「行き倒れは、この国では、この婆さん一人じゃないんだ」

彼の声があまりに強かったので、日本人たちはそれに押されたように老婆から視線をそらして黙りこみ、遠いテレビのほうに顔をむけた。三段に煉瓦を積んだ火葬台、ユーカリの緑の葉で飾られた女性首相の遺体の顔は、ピンクのスカーフで覆われている。軍楽隊が荘重な葬送行進曲を奏でた。遺族である彼女の息子が、薪に火をつけようと近よった。参列者の顔が一人一人うつされる。サッチャー英首相、イメelda夫人、そして中曽根首相の横顔もある。炎が燃えあがる。ガンジス河の火葬場で、次々と布で包まれた遺体がそれぞれの人生と共に炎のなかで消滅したように。にもかかわらず生き残ったものの世界はこれからも互いに憎み、争うだろう。イランとイラクの戦は相変わらず続き、レバノンでも内戦が起こり、テロリストたちは英国ブライトンで、首相の宿舎を爆破して三十数人が傷つき死亡している。・・・

「何しているんです。バスは」と三条が江波にたずねた。・・・

「こんな暑さのなかで、何時間待つんだろ」

「いいじゃないですか。これも印度ですよ。・・・ 思い出のひとつになります」

三条は不満げな顔をしたが、気を取り直してカメラを眼の高さにあげ被写体を探した。黄色い泡を口からふいて壁に上半身をあずけている老婆に向けてシャッターの音が何度も聞こえた。その時、人々が急いで道をあけた。担架を持った二人の男をつれて、ねずみ色の尼僧服をきた白人と印度人の若い修道女が老婆に近づいた。彼女たちは老婆にヒンディー語で何かを囁き、そのうつろな顔を水でぬらしたガーゼでふいた。

「マザー・テレサの尼さんたちですよ」

と江波が日本人たちに説明した。

「御存知でしょう。この町に『死を待つ人の家』を作った修道女たちです。彼女たちはカルカッタでああして行き倒れの男女を探しては、臨終まで世話するんです」

「意味ないな」と三条が嘲った。「そんなことぐらいで、印度に貧しい連中や物乞いはなくならないもの。むなしく滑稽にみえますよ」

滑稽という言葉が美津子に大津のみじめな半生を思い出させた。三条の言うように、大津がヴァーラーナシイの町で、瀕死の老人や老婆を無料宿泊所や河の火葬場に運んでも、それはどのくらい役にたつのだろう。それなのにこの修道女や大津は・・・

「わたくしは日本人です」

と美津子は白人の修道女に話しかけた。

## QUESTION 1 (Continued)

「何のために、そんなことを、なさっているのですか」

「え」

修道女はびっくりしたように碧い眼を大きくあけて美津子を見つめた。

「何のために、そんなことを、なさっているのですか」

すると修道女の眼に驚きがかげ、ゆっくり答えた。

「それしか・・・この世界で信じられるものがありませんもの。わたしたちは」

それしか、と言ったのか、その人しかと言ったのか、美津子にはよく聞きとれなかった。その人と言ったのならば、それは大津の「玉ねぎ」のことなのだ。玉ねぎは、昔々に亡くなったが、彼は他の人間のなかに転生した。二千年ちかい歳月の後も、今の修道女たちのなかに転生し、大津のなかに転生した。担架で病院に運ばれていった彼のように修道女たちも人間の河のなかに消えていった。

(遠藤周作『深い河』)

(注)・・・は本文の省略部分を表わす。

## QUESTION 1 (Continued)

- 一、老婆を見た時、<sup>インド</sup>印度人たちは、なぜこのような反応をしたのでしょうか。(傍線部1)
- 二、江波が「怒ったように言った」理由は何ですか。(傍線部2)
- 三、「それ」とは何を指していますか。(傍線部3)
- 四、「うつろな顔」とは老婆のどんな状態を表わしていますか。(傍線部4)
- 五、三条は修道女たちの行為を「むなしく」しかも「滑稽」にみえると言っています。どうして三条はこのように言ったのでしょうか。(傍線部5)
- 六、美津子に「何のためにそんなことをしているのか」と尋ねられた時、なぜ修道女は驚いたのだと思いますか。(傍線部6)
- 七、「玉ねぎ」は比喻として使われています。何のことを意味しているのでしょうか。(傍線部7)
- 八、ここでの「転生」とはどういうことですか。(傍線部8)

## QUESTION 1 (Continued)

(b) Read the following passage, then answer the questions in JAPANESE.

次の文を読んで、あとの問いに日本語で答えなさい。

無敵のパラリンピック

障害者と町中で出会ったときに、胸に感じるざわめきはなんだろう。

「ジロジロと見ては、失礼ではないか」

そう、障害者を見ることはいけないことだと、日頃から私たちは思っている。一方で、いけないとわかっているながらも、障害者の姿を横目で追ってしまうことがある。在るべき所に腕や足がない姿や、筋肉の緊張によって強張った顔や指を見ると、また大きく胸がざわめきだす。

畏怖と憧憬。人は誰しも、自分が持っていない物を持つ他者に対して、恐れを抱くと同時に惹かれていく。そんな感覚は、異形の肉体に対しても持ち得るのではないだろうか。

もともと「障害者が持つ肉体の特異性に惹かれる」と言っても、なかなか共感を得ることはできないだろう。障害者イコール可哀想な人たちというイメージは、多くの人の心に深く根付き、興味本位の目で障害者を見ること自体が不謹慎という空気に、この社会は満ちているからだ。

可哀想というのは、もちろん障害者たちの肉体をネガティブに促えたものである。それを補うようにして、「体は不自由だけれども、心は清く正しく美しい」と、障害者の内面は語られ続けている。障害者にも様々な性格の持ち主がいることは、少し考えれば誰にでも想像がつくはずなのだ。多くの人が障害者を聖人君子として一括りにしたがるのは、「不自由な肉体を持つことはマイナスでしかない」という認識の裏返しのように感じられる。

私は障害者のプロレス団体「ドッグレッグズ」を主宰しているのだが、障害者の心を美化せずに、肉体

そのものが人々の関心を集めるようになればと、常々思ってきた。障害者が自主的にリングに上がるようになった経緯は、『無敵のハンディキャップ』という本にまとめたが、「障害者を見世物にするな」という批判は跡を絶たない。今の世の中では、障害者は見るのも見せるのも難しいと言わざるを得ないが、興行活動を七年間続けての実感であった。ところが、そんな状況にも、若干だが変化が見え始めている。

先日、長野パラリンピックが盛況のうちに閉幕した。前売チケットは完売し、観客が選手たちを応援する光景もオリンピッククさながらという盛り上がりであった。テレビでは相変わらずの感動仕立ての報道が繰り返されていたが、選手たちの多くは、「パラリンピックを競技としてみて欲しい」と口を揃えていた。パラリンピックに出場した障害者たちは、まさにアスリートだった。お陰で私たちは、見るという行為に徹することができたのである。選手たちがもし、「これをきっかけに障害者への理解を深めて欲しい」と発言し出したら、興ざめしていただろう。では、見ることに集中したとき、パラリンピックの競技としての魅力はどこにあったのか。

それこそ、障害者の肉体美に他ならなかったように思う。アルペンスキーで観客が沸いたのは、片足やチェアスキーで斜面をハイスピードで滑り降りたからだ。アイススレッジスピードレースでどよめきが始まったのは、萎えた足の代わりに両腕に握られたスティックが、力強く氷を蹴ったからである。アイススレッジホッケーが会場を熱気で包んだのは、町で出会えば可哀想と思われるような肉体を待った選手たちが、激しい肉弾戦を繰り広げたからではないか。

パラリンピックの選手たちの姿には、オリンピックの選手とは、また別の美しさがあった。見慣れた競



技の風景も、障害者がプレーすることで違和感が生まれる。初めは驚き、とまどうが、それを乗り越えようと、他の競技では得られない視覚的な面白さを発見できる。そして、パラリンピックがこれだけの関心を集めたのは、人々の心に眠っていた、障害者の姿をじっくりと見てみたいという気持ちが表面化したからだとも思うのである。

・ ・ ・

障害者の体を見るだけで不謹慎と誤ってしてしまうように、多くの人は障害者と付き合うことを難しく考えすぎている。だからこそ、パラリンピックや障害者プロレスのように、理屈抜きで障害者に関心をもてる舞台が必要だと思うのだ。「問題意識を持って」という気負いがなくても、障害者と接することはできるのだから。

(北島行徳『文芸春秋一九九八年五月号』)

(注) ・ ・ ・ は本文の省略部分を表わす。

- 一、 町中で障害者と会ったときに、胸がざわめくのは、なぜだと筆者は思っていますか。(傍線部1)
- 二、 「多くの人が障害者を聖人君子として一括りにしたがる」のは、どうしてですか。(傍線部2)
- 三、 長野パラリンピック成功の理由を筆者は、どのように考察していますか。二点挙げなさい。

## PART B—PRESCRIBED TEXT

(25 Marks)

QUESTION 2 Use a SEPARATE Writing Booklet.

問題 2 (a)(b)の答えを新しい冊子に記入しなさい。

- (a) Read the following passage, then answer the questions in EITHER Japanese OR English. No additional marks will be given for answering in Japanese.

次の文を読み、あとの問いに日本語または英語で答えなさい。どちらで答えても、得点に変わりはありません。

「掛値なしの八百円、これを一個、ごひいきの御札に、皆様のなかの御一方おひとかたに無代で進呈いたしまあす」

無邪気なひらいた掌がいつせいにのびた。老商人は大仰にそれを払いのけた。

「一個やぜ。たったの一個や。歌島村の繁栄を祝して、犠牲的サービスおうみの近江屋賞や。だれでも、勝ったお人に一個さしあげる。お若いのが勝ったら青、中年の奥さんが勝ったら茶・・・」

茶色の中年向をほしいと思った新治の母親が、まっさき2に名乗り出た。  
するとその次に名乗り出たのは初江であった。

一時間がすぎると、舟は東の磯からかえって来た。競争のためにいつもの十倍も疲れ果てた八人は、裸の上半身をもたせ合って黙って思い思いの方角に目をやっている。濡れて乱れた髪は、隣人の髪ともつれ合って、見分けがつかない。肌寒さに抱き合っている二人もある。乳房は鳥肌立ち、あまり日光が澄明なために、日灼けのしたそれらの裸体も、蒼褪あおざめた溺死者できししやの群のように見えた。これを迎える磯の賑にぎわいは、音もなくしずしずと進んで来る舟に、似つかわしくなかつた。

## QUESTION 2 (Continued)

舟を下りると、八人はすぐ焚火のまわりの砂に崩折れて、口もきかなかつた。一人一人からうけとった桶を、行商がしらべて、大声で鮑の数を言った。

「二十疋、初江さんが一番」

「十八疋、久保さんの奥さんが二番」

一番と二番、初江と新治の母親は疲れて充血した目を見交わした。島でもっとも老練な海女がよその土地の海女に仕込まれた練達な少女に敗れたのである。

初江は黙って立って、賞品をもらいに、岩のかけへ行つた。そしてもって来たのは、中年向の茶いろのハンドバッグである。少女は新治の母親の手にそれを押しつけた。

母親の頬は飲びに血の気がさした。

「どうして、わしに・・・」

「お父さんがいつか、おばさんにすまんこと言うたから、あやまんならんといつも思うとつた」

「えらい娘っ子や」と行商が叫んだ。みんなが口々にほめそやし、厚意をうけるように母親にすすめたので、彼女は茶いろのハンドバッグを丁寧に紙に包み、裸の小わきに抱えて、何の屈託もなく、

「おおきに」

と礼を言った。母親の卒直な心は、少女の謙讓をまっすぐうけとつた。少女は微笑した。息子の嫁えらびは賢明だった、と母親は思った。――島の政治はいつもこうして行われるのだ。

## QUESTION 2 (Continued)

- 一、「無邪気なひらいた掌」という表現から、どのような海女たちの姿が読みとれますか。次のア～エの中から一番適当と思われるものを一つ選んでそのカタカナを書きなさい。(傍線部1)
- ア 子供達の掌のような若々しい掌を持つ海女達の姿
- イ お金を払わなくても欲しい物が手に入られると思う若い考え方をする海女たちの姿
- ウ 欲しいという気持ちを恥じることなく素直に手を出す海女達の姿
- エ 欲しい物はどうしても手に入れたいと考える貧欲な海女達の姿
- 二、傍線部2から、新治の母親はどんな人物として描かれていますか。小説全体からも例を挙げ、あなたの考えを述べなさい。
- 三、鮑取り競争に参加した海女達の疲労困憊した様子を、最も適切に表わしている部分を、二箇所あげなさい。
- 四、初江は競争に勝った後、なぜ「黙って立って」賞品を貰いに行ったのでしょうか。(傍線部3)
- 五、「まっすぐ」とはどういう意味ですか。自分の言葉で言い換えなさい。(傍線部4)
- 六、「息子の嫁選びは賢明だった」と新治の母親が思ったのはなぜですか。その理由を二つあげなさい。(傍線部5)
- 七、ここでの「政治」とは何を意味しますか。(傍線部6)

## QUESTION 2 (Continued)

- (b) Read the following passage, then answer the questions in EITHER Japanese OR English. No additional marks will be given for answering in Japanese.

次の文を読み、あとの問いに日本語または英語で答えなさい。どちらで答えても、得点に変わりはありません。

## 多文化社会と国際関係

マルチ・カルチュラリズムの下では、異なる文化的前提が、対立<sup>1</sup>の形をとることが少なくない。アングロ・サクソン文化が多数派文化だから、それと少数派文化との紛争が発生することがよくある。多元主義が日常の場で試される次元がいくつかある。

たとえば、法制度の問題。オーストラリアの法体系は、ほとんど英国流だが、それは文化一元主義ではないか。そういう疑問が出てきて当り前である。極端な話、イスラム文化では、一夫多妻制を認めているが、オーストラリア国内に住むイスラム教徒はふたり以上の妻を持てば、重婚の罪で罰せられる。これは、イスラム文化の独自性を無視していることになりはしないか。あるいは、政府や企業が法措置を講じたうえで資源開発をすることで、その土地が先住民であるアボリジニーの人たちにとっての聖地である場合、開発の強行は資本主義文化がアボリジニー文化を押しつぶしていくという側面を持つ。

歴史の解釈という問題もある。例えば、いまでも国民的記念日となっているアンザック・デーというのは、第一次世界大戦当時、旧英帝国軍の一部として、トルコ軍と戦ったオーストラリア兵士の勇敢な戦闘ぶりを記念する日である。しかし、この戦いは、オーストラリア側から見た場合とトルコ側から見た場合とでは、記述にも解釈にも、隔たりが大きい。オーストラリア側の「正史<sup>4</sup>」を

## QUESTION 2 (Continued)

トルコ系の移民が受け入れにくいとしても、それは不思議ではない。その場合、オーストラリア国内での多数派解釈を、たとえば全学校で教えることは、望ましいことかどうか。

忠誠の衝突というもっと深刻な問題もある。世界情勢の変化と共に、国家間の対立が、日常生活に持ちこまれるとき、この種の争点が尖鋭化する。中東湾岸危機で緊張が高まった一九九〇年、「アラブ・バッシング」が各地のコミュニティーで発生した。オーストラリアは、アメリカやイギリスに追随して艦隊を派遣したのだが、そうするとオーストラリア国内に住むイラク系の人たちは微妙な立場に追いやられる。

敵国の末裔ないし協調者というイメージが製造されるからである。テレビ番組などでも、司会者がイラク系の人たちに対して、「あなたはオーストラリア人ですか、イラク人ですか」と問い詰めるような場面が何度かあった。日常のレベルでもアラブ系の人たちが職場や学校でいじめられるという事態が生まれる。

このようなジレンマは、文化関係に権力関係が絡まったときに発生する。文化の間に序列が明確に意識され、権力に支えられた強い文化が、権力を欠いた弱い文化を圧倒するとき、むずかしい二者択一状況が生まれるのである。食事や言語などのレベルでの多様性は、そういう選択をせまることが少ない。すべてのコミュニティーに中華料理屋があり、各国のお国料理が身近かに手にはいるといった次元の国際化は、その意味では罪がない。いろいろな国の言葉が聞けて、文化的に豊かな感じがするというのも、害がない話である。しかし文化の多様性が権力の寛容範囲を超えると、文化のベールをかぶった権力争いが姿を現わす。

(杉本良夫『オーストラリア六〇〇〇日』)

## QUESTION 2 (Continued)

- 一、「対立」とは、具体的に何と何の間の対立のことですか。(傍線部1)
- 二、「アングロ・サクソン文化が多数派文化」とは、どういうことですか。(傍線部2)
- 三、オーストラリア国内のイスラム教徒を例に用い、一元主義の法制度、多元主義の法制度とはどんなものか、対比させながら説明しなさい。(傍線部3)
- 四、この正史に「」(かっこ)が使われているのはなぜですか。(傍線部4)
- 五、イラク系の人たちが、「微妙な立場に追いやられる」理由は何ですか。(傍線部5)
- 六、筆者の考える「罪がない」、「害がない」多文化主義とは何ですか。また、なぜそのように考えるのですか。(傍線部6)
- 七、「しかし、文化の多様性が・・・姿を現わす。」から、筆者はどのような視点でオーストラリアの多文化主義をみていると思いますか。(傍線部7)

BLANK PAGE



## SECTION II—WRITING SKILLS

## PART A—TRANSLATION

(20 Marks)

QUESTION 3 Use a SEPARATE Writing Booklet.

新しい冊子に記入しなさい。

Translate the following passage into Japanese. 次の文を日本語に訳しなさい。

I heard loud voices going towards the pig house, but I was safe as it was very dark. I sneaked back to the pig house and heard someone saying, 'Find Berty, then we will get to the bottom of this.'

I had no boots on so I crept away into the bush and stayed hidden.

At first I heard only two or three pigs, then the noise of all the pigs squealing attracted all the half-drunken men and women to the pig house.

The pigs were all drunk, and Bob found out that I had poured alcohol into the pig trough. Bob said that he was going to find Bert and skin him alive.

When the pigs became calm, I ventured into the stables to get my blanket. I fell asleep and when I woke up Bob was standing over me.

Bob said, 'Well, how much grog did you and Bill put into the pig trough last night? Now there's no use denying it, we thrashed it out of Bill last night and you have still got yours coming.' I did not speak when he asked me where the rest of the grog was.

As I tried to run out of the stable, he met me at the door and caught me around the legs. He started whipping me.

Bob was an expert with the whip, and he used to tame horses with it. I do not know how many times he whipped me because I fainted.

## PART B—COMPOSITION

(30 Marks)

QUESTION 4 Use the special Writing Skills Answer Booklet provided.

原稿用紙に書きなさい。

Write an essay in Japanese on ONE of the following topics. Your essay should be 800–1000 *ji* in length. Indicate your choice of topic, (a) or (b), in the box provided in the Answer Booklet. Use the Answer Booklet correctly.

次の文を読んで、トピック(a)(b)のうち一つを選び、日本語で800–1000字の小論文を書きなさい。原稿用紙の表紙に(a)又は(b)と明記しなさい。なお、原稿用紙の正しい使い方に留意すること。

## EITHER

(a) 下記の文を読んで、二つの国の原爆の受けとめ方の違いについてあなたの意見を書きなさい。

原子爆弾が投下される。そのときから、驚いたことに日本人と米国人は全く違う方向に歩き始めたようだ、と、ずいぶん前に書いたことがある。米国に住んで、人々と話してみれば、これは、ある時期の実感だった。

日本人は、これは悲惨で危険で、廃絶すべきものだ、という方向に歩き出した。米国の人々は、これは実に有用なものだった、と考え始めた。核抑止力という考えが冷戦下で大きな役割を果たしたことは、記憶に新しい。

別に驚くことはなかったのかもしれない。背景にあったのは、戦争の勝者と敗者という、体験の違い、受けとめ方の相違である。むろん話はそう単純ではなく、米国人にも様々な受けとめ方があった。・・・

米郵政公社が計画した原爆を描いた切手には、右のような受けとめ方の違いが表われている。来年発売する、第二次大戦勝利の記念切手だ。図柄は原爆ドームや被災地ではなく、空から見たキノコ雲である。日本人には、戦争終結を早めるという説明が投下を正当化するように響き、やりきれぬ。

(朝日新聞『天声人語』)

OR

## QUESTION 4 (Continued)

- (b) 異文化体験は、ものの見方や価値観などにどのような影響を与えていると思いますか。下記の文を読んで、自分自身の経験もふまえて意見を書きなさい。

日本で・・・思いつめ、追いこまれる若い人の話を聞くたびに、国内にも国外にももっと広い世界があるのに、と励ましたい気がしていた。苦労も多かろうが在外の人々の言葉は広い世界に目を開かせてくれる貴重な証言だ。

「それにしても、なぜ私は日本であんなに自信を失って生きていたんだろうか。日本にいる時の私は、いつも、あれもできない、これもできないって自分のマイナスを数え上げていく暮らしでした」と米国でカフェを経営する人。・・・

(朝日新聞『天声人語』)

End of paper

BLANK PAGE